



かっこう

仙台市教育センター通信

第 11 号 H29. 2. 22

<http://www.sendai-c.ed.jp/>

TEL 022-251-7441 FAX 022-251-7486

☆今年度「かっこう」の最終号となります。毎回お読みいただき、本当にありがとうございました。来年度の「かっこう」も、よろしくお願いいたします。



【センター研修等説明会】

2/22の「センター研修等説明会」において、来年度の研修等の説明とともに、『センター研修 2017』を配布しました。職員の皆さんで御覧いただき、悉皆研修の申込み準備と、希望研修の検討をお願いいたします。

次期学習指導要領を見据え、「主体的・対話的で深い学び」を意識した研修や、カリキュラム・マネジメントなどの研修も開講されます。

また、来年度も、先生方の負担軽減を目指し、研修開始時刻を遅くした研修もありますので、受講する際は、必ず御確認ください。

申込みをお待ちしています。



【オンライン申込について】

いよいよ今年度も残りわずかとなりました。4月に入ると、すぐに研修の申込みが始まります。

次年度は【基本的な研修1～3】の申込期間が、4月3日～6日と短くなっています。早めの準備をお願いいたします。

【基本的な研修1】は、教職員の経験年数に応じた研修です。今年度中に該当する研修をチェックしておき、次年度が始まったら、研修の申込担当者がすぐに手続きができるように、御協力ををお願いいたします。

また、【トピック研修】のアクティブ・ラーニング研修は、開催日が早いため、他のトピック研修と異なり、4月6日までの申込みになります。ご注意ください。



【センター研究発表会から】

教育の情報化研究委員会では、情報活用能力の実践授業、タブレット端末の活用授業、上手な校務支援システム(C4thなど)の使い方についての研究が発表されました。その後、研究アドバイザーの先生方からの講評で、研究のそれぞれの意義の確認とともに、来年度に向けての指針をいただきました。

調査研究委員会では、道徳教育の必要性を再確認したあと、研究協力校の取組と成果の報告、実践委員の先生方の「考え、議論する道徳」の、様々な指導方法が発表されました。

研究アドバイザーの先生からの講評(代読)では、これまでの取組のポイントとともに、重点的課題についての具体的な示し方の提案など、来年度への要望が伝えられました。



図書資料室開館中！ 新しい書籍や資料が入りました！
新年度の学級づくりや授業づくりに、ぜひ役立ててください。
(書籍の貸出期間は2週間、1回5冊までとなっています。)

【今年度の授業づくり訪問を終えて】

1月30日(月)をもって授業づくり訪問が終了しました。訪問1では、多くの学校が、校内研究の進捗状況等に応じて検討会の方法が工夫されていました。例えば、

- ・みんなでアイデアを出し合いたい→グループ協議型
- ・授業の具体をイメージしたい→模擬授業型
- ・研究の方向性を共通理解したい→全体協議型

訪問2では、児童生徒の具体的な姿を基に、研究の成果と課題、そして改善案について、先生方が活発に話し合っていました。その上で、学んだことをその後の研究につなげたり、一人一人の指導に生かしたりしていく方向性を確認しました。

校内研究の充実による先生方の指導力向上が、児童生徒の明日の笑顔につながります。校内での学び合いを、引き続きよろしくお願いいたします。

【来年度の経験者研修について】

「平成29年度 仙台市教育センター経験者研修受講予定者の報告について」ご協力ありがとうございました。

事務職員研修・養護教諭研修は、来年度の県からの権限移譲に伴い、**仙台市独自で実施いたします。**経験者研修対象者と合わせて来年度受講対象者へ周知をしていただき、新年度に入ってすぐの申込み(オンライン)に漏れないように、御配慮願います。

＜今年度同様をお願いしたいこと＞

- 経験者研修対象の先生が病休、産休等でお休みすることが決まった時点で御連絡をお願いいたします。
- 研修会に欠席遅刻する場合、提出書類の期限が遅れる場合には、**教頭先生から御連絡**をお願いいたします。
- 経験者研修の指導案等提出に関しては、校内で指導の上、**巡回郵便で提出**をお願いいたします。

ちょっと一息【道徳コーナー】No.13

道徳科における質の高い多様な指導法の例③

道徳的行為に関する体験的な学習

役割演技などの疑似体験的な活動を通し、道徳的価値の理解を深め、様々な課題や問題を主体的に解決するために必要な資質・能力を養います。道徳的行為を実践するには勇気がいることや、道徳的価値を実現するために、どんな心構えが必要か、また、それがなぜ実現するのが難しいことなのかなどを考えます。



その場面や立場になったとき、どのように感じ、どのように考えたか、その時の思いや行動した理由を、児童生徒と教師、児童生徒同士で、共有しながら深めることが大切です。



【「考え、議論する道徳」HP開設】

教育センターHPから「考え、議論する道徳」のページにリンクできます。文部科学省の道徳教育に関する発表や通知、学習指導要領解説、指導案例などが御覧になれます。ご活用ください。

【教育センターはOJTで学び続ける教師を応援します！】